

平成 30 年 6 月 11 日

平成 30 年度第 2 回炭酸塩岩分科会・講演会のご案内

紫陽花が色鮮やかになった今日この頃、下記の要領にて今年度第 2 回目となる講演会を開催しますのでご参集ください。

日時：2018 年 6 月 29 日（金） 16：30～18：00

場所：石油資源開発株式会社 サピアタワー 19 階 1901 会議室

話題提供者： Dr. Xavier Janson (The University of Texas at Austin)

講演タイトル：テキサス大学炭酸塩岩貯留層コンソーシアム RCRL と最新研究成果（仮）

講演内容（要旨）：

Reservoir Characterization Research Laboratory（以下、RCRL）は、米国テキサス大学オースティン校鉱床学研究所と石油関連企業スポンサーからなる炭酸塩岩貯留層コンソーシアムである。RCRL には主要研究員として、本講演者である Xavier Janson 博士の他に、Charles Kerans 教授や Robert Loucks 博士、Jerry Lucia 氏、Christopher Zahm 博士など著名な研究者が在籍する。RCRL は 1987 年に設立されて以来、3 次元的炭酸塩岩貯留層モデリングの技術向上を目的として、シーケンス層序学や堆積岩石学、ペトロフィジクス、地球化学、地質統計学、油層工学など分野横断的に炭酸塩岩の研究に取り組み、炭酸塩岩貯留層キャラクタリゼーションに関する技術開発を牽引している。

Janson 博士は、フランスの IFP（French Institute of Petroleum）にて修士号を、アメリカのマイアミ大学にて博士号を取得し、2002 年から RCRL の主要研究員として炭酸塩岩シーケンス層序を中心とした研究に精力的に取り組んでいる。特に、米国内の中古生界炭酸塩岩や中東および東南アジア第三系炭酸塩岩を主な研究対象とし、これら炭酸塩岩の堆積システムの解明やサイスミックモデリング構築のために、世界各地で地質調査も行っている。また、これまでに AAPG など多数の学会雑誌で研究成果を公表しており、現在は国際堆積学協会（International Association of Sedimentologists; IAS）と堆積地質学会（Society for Sedimentary Geology; SEPM）の編集者も務めている。

本講演では、RCRL のプログラム概要と最新の研究成果について紹介していただく予定である。参考 HP（RCRL website）：<http://www.beg.utexas.edu/rcrl>

なお、講演会終了後、話題提供者を囲み懇親会を開催いたします（東京駅周辺予定）。

*会場となる JAPEX サピアタワー入館には事前登録が必要となります。参加希望の方は、お名前・メールアドレス、講演会・懇親会参加の有無を明記の上、6/25（月）までに、世話人の JAPEX 鬼嶋 masanori.kishima@japex.co.jp, JAPEX 島津 takashi.shimazu@japex.co.jp, cc. JAPEX 八木 masahiko.yagi@japex.co.jp cc. JX 安河内 yasukochi.toru@jxgr.com cc. MOECO 橋本 naoaki.hashimoto@moeco.com までご連絡ください。各社炭酸塩岩分科会委員の方々には御社毎に参加希望者を取りまとめて世話人にご連絡いただけると助かります。

炭酸塩岩分科会座長 八木・安河内